

島根県立浜田高等学校

自然科学部員のための科学研究研修会の開催



浜田マリン大橋の夕日 (提供: 浜田市観光協会)

植物乳液の防虫効果を解明

ISEF2023の日本代表に決定!

2022年12月、島根県立浜田高等学校の自然科学部がJSEC(高校生・高専生科学技術チャレンジ)で花王賞を獲得し、5月にアメリカで開催されるISEF(国際学生科学技術フェア)2023の日本代表に決定した。

受賞した研究はレタスなどがもつ植物乳液に関するものだ。顧問の福満晋教諭が「部員には身の回りの不思議や疑問を見逃さないよう伝えていきます」と言うとおり、研究動機は「キャベツには虫がつくのレタスにはつかないのはなぜ?」という疑問だった。研究の結果、植物乳液などに防虫効果があることが判明。2年の^{なつりゆうな}渉結名さんは「人体や環境に影響せず、かつ植物由来で持続可能な農薬ができるかもしれないという将来性が評価されたのでは」と受賞理由を自己分析する。



活動メンバーと福満教諭

世界の舞台での活躍に期待

研究発表についても、ワークショップを開催して効果的な発表の仕方を研修させるなど、福満教諭の適切な指導が光る。

その結果、台詞を覚えて相手に向かって話す、といった基本はもちろん、「緊張して早口にならないよう何度も練習します」(2年松井みなもさん)、「誰にでもわかるように簡単な言葉で伝えます」(2年横山麗乃さん)、「似たような実験が並ぶので、各結果の違いが分かりやすいようにします」(2年森山優那さん)など、それぞれが自分の心がける課題を把握していた。3年の^{さかてはるか}坂手遥さんにとっては、「自分の好きなことを伝えるのだから、聞いている人にも楽しんでもらえるような発表にしています」と、さらにレベルの高いプレゼンを心がけている。

今後も研鑽を積んだ部員たちが世界の舞台でどんな活躍を見せるのか。福満教諭の表情からは「今から楽しみです」という思いが伝わってきた。(個別助成)



研究発表のためのワークショップ集合写真



放送部と連携し研究発表のためのワークショップ収録



JSEC2022最終審査会



植物乳液チーム

●実施担当

福満 晋 教諭

●活動のモットー

当たり前だと思われることを当たり前だと思わない。そういう姿勢が育ち、きっかけがつかめれば、生徒は自分で動き始める。



学校概要



教育目標は「高い知性」「豊かな人間性」「逞しい心と体」。野球部が2022年夏の甲子園に出場するなど、文武両道の伝統校。

設立: 1893年

生徒数: 544人

所在地: 島根県浜田市黒川町3749番地

この活動は、中谷医工計測技術振興財団の「科学教育振興助成」により行われています。



公益財団法人

中谷医工計測技術振興財団 〒141-0032 東京都品川区大崎1丁目2番2号 アートヴィレッジ大崎 セントラルタワー8階

シスメックス株式会社創立者の故・中谷太郎氏が私財を投じて設立。医工計測技術分野の発展を願い、「中谷賞」をはじめ各種研究助成、若手研究者支援や国際交流事業を展開。さらに、すそ野拡大のため、科学教育振興活動などに対し、幅広い助成事業を行っています。

中谷財団

検索

